

花のチカラ 緑のココロ

2019年 夏号



残暑お見舞い申し上げます



6月15日に東京都世田谷区で、第18回園芸福祉シンポジウムが開催されました。今回のテーマは『考えようスキルと時間の使い方』です。当日と翌日の見学会について、共催の園芸福祉首都圏ネットの五十嵐久美子代表から寄稿をいただきましたので、以下に紹介します。

東京でのシンポジウムは、「東京2020オリンピック・パラリンピック」の前に開催しようという事で昨年表明し、準備を進めて来ました。当日のおもてなしとして、メンバー皆で手作りした「ハワイアンリボンレイ」は名札の飾りとして、とても好評でした。

基調講演は「女性の品格」で有名な、昭和女子大学理事長・総長の坂東眞理子先生。高齢社会の在り方、特に著書の「70歳のたしなみ」からの、人生はこれから「今日が一番若い日」の言葉はそろそろ終活に向かう私達に夢と希望を与えてくれて、人生の後半戦が楽しみになりました。会場の参加者からは、勇気をもらった、感動した、共鳴を受けた、とても良かった等、様々な声が聞かれました。メンバーからも「会員が高齢化している現在、色々考えさせられました。」との感想が有りました。座談会は和気あいあいとした和やかな雰囲気、3名の登壇者も個性的で、吉長理事長の進行も軽妙で、会場を巻き込みとても楽しめました。

翌16日（日）の見学会「～皇居東御苑・江戸城、ぶらり散歩～」は晴天に恵まれ、夏を思わせるような暑さの中、東京以外に遠方からも沢山の方が参加されました。意外に皇居は初めてという方が多くガイドさんの分かりやすい丁寧な案内で苑内を一周しました。菖蒲田は花菖蒲が丁度見頃で見事でした。二の丸雑木林も武蔵野の面影を残した良い雰囲気、木々の緑に囲まれた別世界でした。メンバーから、入り口の売店で販売している「皇居東御苑の草木図鑑」はお勧めです。の一言、参考までに付け加えておきます。園芸を通して皆が一つになれた事、新しい時代“令和”という幕開けにふさわしい素晴らしい2日間だったと思います。

（園芸福祉首都圏ネット 代表 五十嵐久美子）

坂東先生の基調講演では、「マインドリセット」という言葉がいつまでも残っています。過去の自分を引きずって新しい社会になじめないことが多くあります。私を含め、退職後の中高年が社会から認められ、愛され、感謝されるようになる上、一度自分をリセットしませんか。座談会の中で話しがあった、用事が沢山入った、忙しいが生きがいを感じる暮らしは、自らが動くことで入ってくる用事です。園芸福祉で「キョウウ（今日用）」のある人生の後半戦を送りたいものです。

シンポジウムの前にNPOの通常総会が開かれ、予算の1項目を細目に分けて示すこと以外、活動報告、収支決算、活動計画、予算、役員の改選（全員留任）が原案通り承認いただきました。

（文責：協会事務局 粕谷芳則）



✦地域協力団体のご紹介

現在、全国各地域の園芸福祉活動を支えていくために、都道府県単位で園芸福祉の実践や普及、ネットワークづくりを進めている地域協力団体が20団体あります。地域の活動や行事等につきましては、お気軽に地域協力団体までお問い合わせください。お近くに地域協力団体がない場合は、当協会までお問い合わせください。

地域	団体名	連絡先	地域	団体名	連絡先
福島県	うつくしま園芸福祉の会 担当：服部・小池	024-593-6337	三重県	三重県園芸福祉ネットワーク	0595-65-8787
栃木県	園芸福祉とちぎ	0285-53-6825	滋賀県	NPO法人滋賀の園芸福祉研究会	077-589-2210
埼玉県・東京都 千葉県・神奈川県	園芸福祉首都圏ネット	090-6925-6163 (五十嵐)	京都府	NPO法人京の農・園芸福祉研究会	075-581-5499
新潟県	園芸福祉にいがた	0258-86-8121	大阪府	NPO法人たかつき	072-689-9112
石川県	いしかわ園芸福祉協議会 担当：瀬川	076-225-1478 (内線 4271)	兵庫県	ひょうご宝塚園芸福祉協会	0797-86-0619
福井県	ふくい園芸福祉研究会	090-1319-3555 (浦野)	岡山県	NPO法人岡山県園芸福祉普及協会 (西村)	090-7543-8168
長野県	長野県園芸福祉ネットワーク	0265-98-6707	広島県・島根県	ひろしまね園芸福祉協会	0823-33-7173
岐阜県	NPO法人岐阜県園芸福祉協会	0574-72-2222	福岡県	園芸福祉ふくおかネット	090-8626-1586 (黒瀬)
静岡県	NPO法人しずおかユニバーサル 園芸ネットワーク	053-425-8686	長崎県	NPO法人長崎さんさん 21	095-857-3251
愛知県	NPO法人花と緑と健康の まちづくりフォーラム	052-613-1187	沖縄県	沖縄園芸福祉協会	098-895-8820

✦園芸福祉士資格審査のご案内

令和元年度園芸福祉士資格審査についてご案内いたします。
以下の①～③の審査条件をすべて満たした方は、園芸福祉士
資格審査の申込みをすることができます。

【審査条件】

- ①初級園芸福祉士の資格更新を1回以上行い、審査申込時点で資格登録者であること。
- ②園芸福祉活動を2年以上行い、年間活動アンケートを2回以上提出していること。ただし、年間活動アンケートは園芸福祉活動を行った報告であること。
- ③当協会または地域協力団体の主催或いは共催のシンポジウム、事例発表会、勉強会、イベント等に1回以上参加していること。審査申込時に自己申告していただきますが、居住地域に地域協力団体がない等、参加が難しい方については別途ご対応いたします。

令和元年度新たに①②の
条件を満たした方には審査申込
書をお送りいたします。

また、平成30年度以前にすべての
条件を満たし今年度審査を希望さ
れる方、審査条件を満たしているか
ご確認されたい方は、8月19日(月)
までに事務局までお問い合わせ
ください。

審査申込期間

令和元年 8月10日～8月31日

審査料 3,000 円

✦初級園芸福祉士の自己紹介

自宅ではもっぱら鉢植えやコンテナ栽培で主に花を育てています。家の前を散歩する人たちに「きれいにお花が咲きましたね」と話しかけられると大変うれしく感じます。花の手入れをしたり、植え替えをしていると又、道ゆく人に話しかけられ、手入れも忘れて話し込んだりしています。人が好きで、植物、特に花が好きで花咲かじいさんを目指しています。(東京都／60代)

私は愛媛県の介護施設で働いています。園芸に興味を持ったのは、職場の草むしりがきっかけです。草を抜くと、キレイになり、植えたい植物も植えられるようになり、ホームセンターに探しに行ったりしているうちに植物が好きになりました。そんな時に、社長に園芸福祉のお話を聞き、チャレンジしようと思いました。(愛媛県／20代)

私は学校の課題研究という授業でも園芸福祉活動を選択しています。幼稚園に通う子どもたちから地域の高齢者の方まで、幅広い世代の人々と一緒に園芸に関わり交流しています。将来は福祉施設か、保育園で働きたいと思っているので、どちらを選んだとしても、園芸福祉を取り入れながら働きたいです。そして園芸を通して、幅広い年代の方と交流し、同じ時間を共有し、たくさん話して、たくさん笑って成長や長生きに繋がるような活動を広めたいです。(三重県／10代)

退職までのカウントダウンが始まりました(4年)。人生のセカンドステージは緑と人々に接する機会をたくさん設け、潤いのある生活を築いていきたいと考えています。まずはその一歩として、初級園芸福祉士の資格に挑戦しました。(広島県／50代)

私は農業高校に通っています。授業で園芸福祉の勉強をし、初めて1からプログラムを作りました。難しかったけれど、私は高齢者の気持ちになって、どうしたらみんなと楽しい園芸活動ができるのか考えながら書きました。将来は高校生活で学んだ知識を活かした仕事に就きたいです。(愛知県／10代)

本年度は、新たに約100名の
方々が登録されました。
その中から一部をご紹介します。



✦年間活動アンケート感想紹介

年間活動アンケートにご協力いただきありがとうございました。全国各地で様々な特色ある活動が行われています。その中から本号発行にあたり3名の方にご寄稿いただきましたのでご紹介いたします。



赤水博美さん 大阪府交野市 <06-242>

子どもたちへの一番大切な贈りもの

私は、大阪府交野市でこども探検部・こども園芸部を主宰しています。2006年に園芸福祉士を取得し、結婚、出産を経て、2009年に長女や友人親子らと当時住んでいた兵庫県東加古川の子育て支援センターの庭に種を播き、花を育てるサークル『Young Gardener Club（こども園芸部）』を立ち上げました。その庭は今でもボランティアさんたちが管理してくださっています。

大阪へ引っ越してから「芝ぼうず」「苔玉人形」等の単発で年2〜3回ワークショップを依頼され園芸部を続けています。また、大阪市立大学理学部附属植物園で「神秘さや不思議さに目をはまる感性、センス・オブ・ワンダー」を見つける「こども探検部」の活動を月1回（第3日曜）しています。自然の地形を利用して日本各地の代表的な11種類の森を再現しようとする少し変わった植物園です。昨年9月の台風で甚大な被害があり200本もの樹木が倒れ折れ、自然災害の恐ろしさを感じました。しかし自然は再生され鳥や虫も戻ってきています。様々な体験を通して子供の心にも種を撒いていけたらと思っています。

進藤丈典さん 広島県呉市 <08-064>

西日本豪雨で被災された方々と花活を楽しむ

西日本豪雨で甚大な被害を被った広島県安芸郡坂町小屋浦の被災者の方々に支援する活動を今年の2月から始めました。何ヶ月も「土しか見ていない。」と言われる地域の方々に花で励ますために「花活」のことを詳しく知りたいとカリタスジャパンのシスターから連絡をいただきました。2014年から5年間園芸福祉士が講師や助手を務めた広島花きイノベーション事業でのフラワーアレンジメントや昨年からは始めた竹原市の社会福祉法人的場会での的場会式花活（MHK）についてお話ししました。「複数回繰り返しフラワーアレンジメントを行う場合はMHKがコストや取り扱い易さなどで適している。」とご判断いただき、第1回目は2月26日に仮設住宅として使用している雇用促進住宅の集会所で30名近くの方々が参加されて開催しました。以降、定員30名とし、3月、6月、7月と開催しています。参加される方々の笑顔がとても素晴らしく、喜んで下さっています。作品はご自宅に持ち帰って花のある生活を楽しんでおられ、好評をいただいています。



細川るり香さん 熊本県山鹿市 <07-316>

熊本県立菊池農業高校生が田舎を元気にしています！

「グリーン・ツーリズムで日本を盛り上げる！」・・・園芸を軸に、ヤギやカイコの飼育・農村文化の継承・人材育成へと、活動が広がっています♪

①ヤーコンで民泊に貢献

振興作物ヤーコンを学校農場で栽培し、農村民泊のメニュー開発に挑戦。シャキシャキ感がサラダに合い、コンポートも美味しいことを発見しました。ベジタリアンの多い海外からのゲストに提供し、民泊の売上げアップにつなげています。



②養蚕文化の継承と活用

農蚕学校だった歴史のもと、クワの栽培や「まゆだまクラフト」で地域を元気にしています。老健施設での農福連携のほか、収益金を全額提供することで、南阿蘇の復興や、夜神楽・初市といった伝統行事の保存にも貢献。異世代・異文化交流にもつなげています。



③NPO法人「田舎萬本舗」の設立

卒業生（大学生）を社長に、地域づくり・次世代育成・イベント運営・ビジネス提案の4事業部の長を高校生が務める、「田舎の萬屋」設立に向け準備中。農村部のお困り事を解決する「何でも屋さん」を目指しています♪

仲間になってください！



✦この夏のおすすめの一冊



「ラプンツェル」グリム原作 パーナデッド・ワッツ文・絵 福本由美子訳 BL出版 1,600円＋税
むかしあるところに子どものいない夫婦がいました。何年も子どもがほしいと思いつづけ、やっと子どもが生まれることになりました。ある日、奥さんが二階の窓からとなりを見ると、庭のラプンツェルがどうしても食べたくまりました。しかしそこは魔法使いの庭…。グリム童話をパーナデッド・ワッツが日本の読者のために描き下ろしました。繊細でやさしいタッチの絵、リズムのいい日本語。読み聞かせに、また初めて出会うグリム童話としてもお勧めです。この絵本は神奈川県伊勢原市在住の園芸福祉士さんよりご紹介いただきました。



コラム 市民農園万国記

～最終回～



クラインガルテンに3世代集合（ドイツ ミュンヘン市）

初めて欧州の市民農園を視察して今年で30年になります。欧州の色々な国を見て感じたことは、北部から中部では盛んですが、南部の地中海沿岸は量も質も劣ること。耕作に励む国と施設で快適に過ごすことに重きを置く国に別れること。いずれの国も利用者のコミュニティ形成を重視し、地域社会や環境に寄与しようとしていることなどが上げられます。スウェーデンの市民農園協会の印刷物には、『市民農園は都市を耕す』と書いてあると聞いたことがあります。物理的に土を耕し緑を育てるだけでなく、人々の心を耕しコミュニティやカルチャーの拠点となる決意からでしょう。農地は、多くのポテンシャルを秘めており、生産農業や市民農園、福祉農園、その他を含めまだまだ使い切れていないと思います。少子高齢化や地方の過疎化などもあり、農業後継者不足による農地の遊休化が課題となっています。農地を国民の財産と考え、皆で活用し維持していく上で、園芸福祉の考え方を積極的に導入し新しい展開を図りたいものです。

このコラムは、2011年から8年間も続けて来ましたが、次の企画に貴重な紙面をゆずることとし、今号で最終回とさせていただきます。長い間ありがとうございました。（粕谷）



視察後農園役員と交流（ドイツ アウグスブルグ市）

メールマガジン配信中！

全国各地の活動情報、イベント、講習会など園芸福祉に関する情報を配信しています。登録は無料！

登録方法は、件名に「登録希望」、本文に氏名と認定登録番号を明記の上、下記までご送信ください。

送信いただいたメールアドレスを登録させていただきます。登録完了後、「ご登録完了メール」をお送りいたしますので、「@engeifukusi.com」からのメールが受信できるよう設定をお願いいたします。

送信先 kyoukai@engeifukusi.com

正会員を募集しています

日本園芸福祉普及協会は、NPO法人です。NPO法人は、正会員で成り立つ組織です。協会の正会員の内70%以上の方は、初級園芸福祉士の資格を取られた後に正会員になられた方達です。多くの方に正会員になっていただき、協会運営にお力添えをお願いいたします。

おすすめの一冊

会報で紹介させていただくおすすめの本を募集しています。みなさんのおすすめの一冊をぜひお知らせください。ただし、園芸福祉に関連する、あるいは関連すると思われる本に限らせていただきます。お待ちしております！！

お知らせ

Yahoo!ブログのサービス終了に伴い、ameba ブログに引越ししました。新しいアドレスはこちらです。

<https://ameblo.jp/engeifukusi/>

今後ともよろしくお願いいたします。

編集後記

夏が旬の食べ物といえばスイカ（西瓜）。甘くて瑞々しい味わいから果物と思いがちですが、実は野菜の一種。農林水産省の定義では「果物的野菜」とはっきりしない分類に……。スイカの特徴の黒い縞々模様は、果実を目立たせて鳥に見つかりやすくするためのもの。種の保存のために発達させてきた特性だといえます。ちなみにスイカの種は縞々模様の下に集中しているので、縞々の部分を避けて包丁を入ると断面に種が出てこないのを見た目がキレイにカットできますよ。（今井）



NPO法人日本園芸福祉普及協会
〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 58
TEL: 03-3266-0666 FAX: 03-3266-0667